

意見書および陳情書

国会における憲法論議の推進と

広く国民的議論の喚起を求める意見書提出について

<賛成多数で可決>



現政権が進める憲法論議は、自衛隊明記や、今の法律で対応可能な災害時対応を主な理由とした緊急事態条項の新設を含んでいます。憲法は国民の自由と権利を守るためのもの。人権縮小の方向性が濃厚な改憲論議を進めることには反対です。



選択的夫婦別姓制度の審議を求める意見書提出について

<賛成多数で可決>



同性が義務化されているのは日本のみ。結婚までに社会でキャリアを積んだ女性が、結婚を機に姓を変える弊害は大きく、女性の活躍推進を阻害するもの。姓を自由に選べる制度の推進を強く望みます。(都議会でも同趣旨の意見書が可決。)



鬼太郎ひろば利用者を大気汚染による健康被害から守る施策の推進を求める陳情

<反対多数で不採択>



幼児をはじめとして、排気ガスやたばこの煙などからの影響を受けやすい体質の市民がいます。そのことから、交通量の多い鶴川街道に面した鬼太郎ひろばの場所は、大気汚染基準を満たしているとは言え、公園設置に適切だとは言えないと考えます。今後、公園設置の際は大気汚染の状況についても配慮が必要です。



不誠実な陳情審査を改めることを求める陳情

<反対多数で不採択>



4年に一度の選挙直前の議会で提出される陳情書が継続審査になった場合に、事実上廃案となることは十分に市民に伝わっていません。市民の信頼を得るためにも、議会改革で検討するべき課題です。



地方自治体における自衛官募集の取り扱いに関する陳情 <反対多数で不採択>



調布市は、すでにさまざまな形で自衛隊に情報を提供しています。紙ベースの情報やデータを丸ごと提供しない地方自治体を「非協力的」として圧力をかけ、自らが憲法を守る立場にありながら、それを理由に改憲を進めようとする首相の姿勢には賛同できません。



他の自治体のネット議員と日野市の発達・教育支援センター「エール」の視察にて。

世田谷区立桜丘中学校の西郷校長と。



調布市子ども発達センターの視察より